○今郷棚田集落協定（滋賀県甲賀市）

【概　要】

１　むらづくりの動機・背景

今郷地区は、旧東海道の風情のある町並みと豊かな農村景観が現在に伝わる歴史的地区である。平成 22 年から地域の市民グループ「今郷好日会」が、旧東海道の町並み保存に取り組んでいる。

令和元年６月の「棚田地域振興法」の成立を契機に、令和３年２月に指定棚田地域の認定を受け、棚田の自然環境の保護と保全活動のため、「今郷棚田集落協定」を令和３年 11 月に設立し、古き良き棚田の景観を活用し関係人口の拡大を目指す取組が始まった。

２　むらづくりの内容

今郷棚田集落協定は、農地の地権者と農事組合法人いまごう営農で構成され、大学、ＮＰＯ法人、企業、行政など外部機関と連携して、棚田を軸とした生態系保全やビオトープ整備で自然環境を保護し、多様な生物が生息する環境を創出する活動を主とする持続可能な地域づくりを目指している。

また、「今郷棚田の自然を学び豊かな自然を守ろう」をテーマに、

（１）県内の博物館などと連携した生態系保全活動や、ビオトープを整備し、自然観察会などを通じた環境教育の実施

（２）立命館大学と連携し、今郷棚田米の商品開発「今郷棚田米５種食べ比べセットのパッケージデザイン作成」や、水口かんぴょうのレシピ考案など、地域ブランドの知名度向上

（３）新規就農者の受け入れ支援や、都市住民との交流イベントを通じた地域コミュニティの強化による定住促進

などに取り組んでいる。

これらにより、棚田や多様な希少種を育む農村景観の保全、コミュニティ活動の活性化が図られており、地域活性化に寄与している。



↑今郷の棚田



↑今郷棚田米